

改善計画書

施設名 いなべ市立ほくせい保育園

(担当者 出口ひろみ )

(作成年月日 平成30年3月28日作成)

		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
(施設として取り組むべきこと)	1	昔ながらの商店街や神社仏閣の行事など恵まれた地域資源を取り入れ、園児が地元の祭りや伝統文化に慣れ親しむ機会を大切にしたり、地域住民の指導を得ての野菜の収穫・将棋・竹馬作り・凧作り、世代間交流等の活動を通して、地域との関わりを大切にした保育を実践している。						
	2	外国籍児童が多い園であるため通訳者(スペイン語 ポルトガル語)を配置し、保護者との面談、各種手続きでの通訳や おたより、お知らせ連絡等の外国語版を作成するなどして、外国籍児童の家庭にわかりやすく伝えてスムーズな園生活が送れるようにしている。						
	3	園児の食物アレルギーに対して全職員に周知すると共に、毎朝のミーティングでの確認や配膳の工夫をすることで子ども達の安心安全な食事提供に取り組んでいる。						
	4	いなべ市では、子育て支援の取り組みとして「チャイルドサポート事業」を実施しており、保健・保育・教育・障がい福祉の各部門が連携するシステムが構築されており、各種相談・連携窓口がフローチャートで明確化している。						
	5							
すぐできること	1	安心・安全な福祉サービス提供のための取り組みの強化。	全職員が情報共有できるよう、定期的な会議を実施する。	1年	平成30年4月	平成31年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットの様式を簡単に記入しやすいものに変更する。</li> <li>データの蓄積と分析を行い、月1回の園内研修時に安全に関する会議を実施して職員間で共有する。</li> </ul>	全職員
	2	保護者の意見や要望等への検討・対応、経過や結果の説明等の仕組みの確立。	メッセージボックスやおたより帳等で届けられた意見や要望に対して、その内容や結果を公表する手順を整える。	1年	平成30年4月	平成31年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>届けられた意見や要望を記録に残し、職員間で分析検討し結果を公表する。</li> <li>掲示板、毎月の園だよりや日々のたより“にし”にて掲載する。</li> </ul>	園長・園長補佐
	3	実習生やボランティアの受入れ態勢についての積極的な取り組み。	全職員がマニュアルを周知徹底し、受け入れ態勢を整える。	1年	平成30年4月	平成31年3月	実習生やボランティア受入れの際には、事前にマニュアル確認を行い全職員で共有すると共に指導者への助言を行う。	全職員
	4	感染症に関する情報の速やかな情報提供。	感染症発生の時期には、プライバシーに配慮しながら速やかな情報提供に取り組む。	1年	平成30年4月	平成31年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症発生の時期には、感染を広げないための保護者への速やかな情報提供を日々のたよりや掲示板等で行う。</li> </ul>	園長・園長補佐
	5							
工夫すればできること	1	保育に対する安心感や信頼を高めるための取り組み。	保護者が意見要望を言いやすい環境を整えるとともに園の保育に対する考え方や姿勢を伝えていく。	2年	平成30年4月	平成32年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージボックスの意図を保護者に周知して気軽に利用していただけるようにしたり、職員から保護者への積極的な声かけに努めたりして、保護者が意見、要望、苦情等を伝えやすいようにする。</li> <li>入園説明会、保護者会、保育参観等をはじめ、園だより、日々のたより等で、保育に対する考え方や姿勢を丁寧に説明する。</li> </ul>	全職員
	2	地域住民との相互の情報交換、防犯や見守り体制作り。	子供の安全確保について地域との相互協力体制を作る。	2年	平成30年4月	平成32年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室、避難訓練、世代間交流等の機会を通じて、地域の方との連携を強化し、相互に協力し合える関係作りを進める。</li> </ul>	園長・園長補佐
	3							
	4							
	5							
予算化しなれないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							